

平成16年度

4
「市長と語る」

の

記 録

八王子市 総合政策部 広聴広報室

目 次

はじめに	1
1. 要望等項目別件数	2
2. 各会場の実績	3
3. 所管別内容	
(1)所管別件数一覧表	3
(2)所管別件名一覧表	4
4. 質問、市長答弁要旨及び担当所管	
中央地域	10
西部地域	14
西南部地域	17
東部地域	20
東南部地域	24
北部地域	28
5. 過去の提案等取り組み状況	31
6. 会場配布資料	39

はじめに

市長が各地域に出向いて、市民の皆様から直接、市政についてのご意見・ご提案等をお聴きする「ふれあいトーク」も、今年で5年目を迎えました。

今回から、タイトルを“タウンミーティング「市長と語る」”に一新するとともに、地域での活動がさらに広がることを期待して、テーマに沿った地域での取り組み事例を直接地域住民の方々に報告していただくなど、より多くの市民の皆様のご参加を願って実施しました。

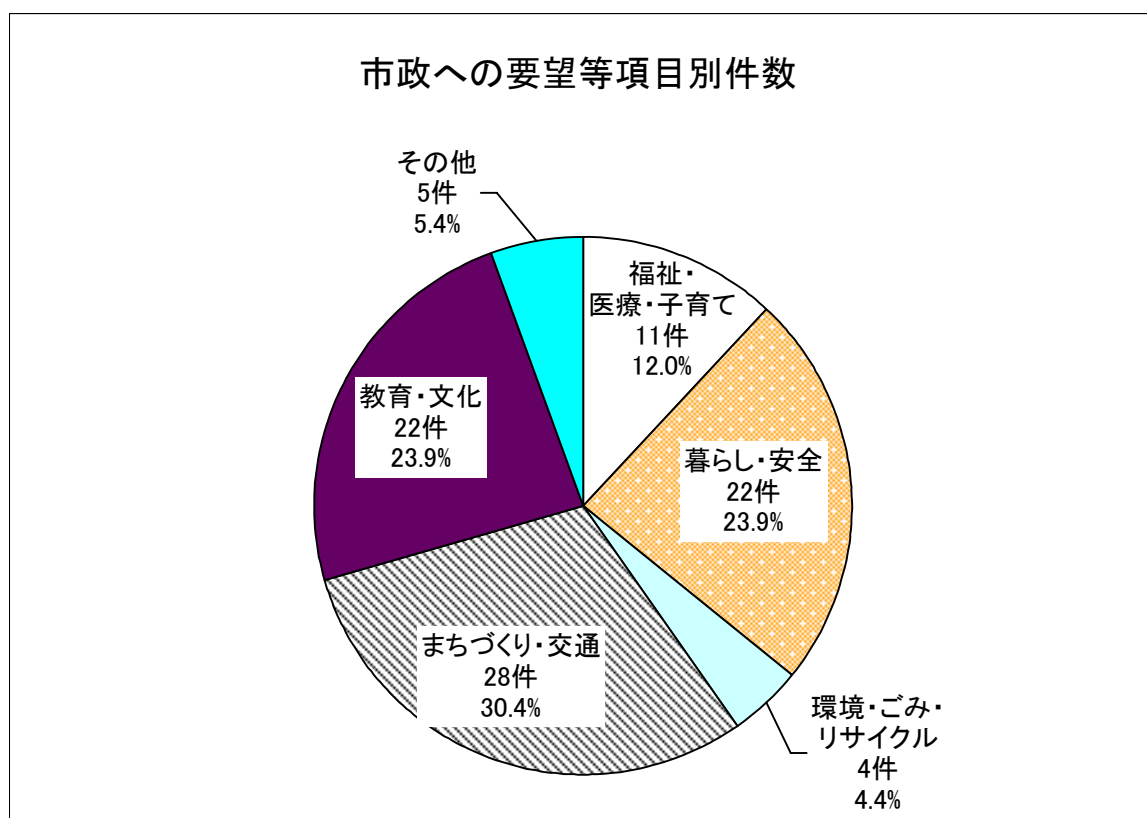
さて、少子化・核家族化、都市化による人間関係の希薄化や遊び場の減少など、子どもたちを取り巻く環境は大きく変化しています。そして、少年犯罪の凶悪化、いじめ、引きこもり、大人からの虐待や青少年を狙った犯罪の増加など、子どもたちに関する社会問題は様々な形で現れています。

そこで、今回は、「みんなでつくる安全なまち八王子 ～地域ぐるみで育む子どもたち～」をテーマに、やがて地域を担っていく人材となる子どもたちを地域ぐるみで育てていくためのアイデアを、市長にご提案いただきました。

これらを真摯に受けとめ、今後の施策への反映に努めるべく、そのまとめとして本書を記すこととします。

1. 要望等項目別件数

開催日	会場	地域	地区	福祉・医療・子育て	暮らし・安全	環境・ごみ・リサイクル	まちづくり・交通	教育・文化	その他	合計
5月15日	市役所本庁舎	中央	本庁	1	8	1	7	1	0	18
5月22日	川口市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	1	0	0	7	3	0	11
5月29日	横山南市民センター	西南部	浅川 横山 館	1	4	0	3	6	2	16
6月5日	柏木小学校	東部	由木 由木東 南大沢	2	4	0	5	5	1	17
6月26日	由井市民センター	東南部	由井 北野	2	2	2	4	5	2	17
7月3日	石川市民センター	北部	加住 石川	4	4	1	2	2	0	13
合計				11	22	4	28	22	5	92



2. 各会場の実績

開催日	会場	地域	地区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月15日	市役所本庁舎	中央	本庁	112	8	18
5月22日	川口市民センター	西部	元八王子 恩方 川口	141	8	11
5月29日	横山南市民センター	西南部	浅川 横山 館	116	10	16
6月5日	柏木小学校	東部	由木 由木東 南大沢	99	9	17
6月26日	由井市民センター	東南部	由井 北野	74	7	17
7月3日	石川市民センター	北部	加住 石川	97	9	13
			合計	639	51	92

3. 所管別内容

(1) 所管別件数一覧表

部名	件数	部名	件数	部名	件数
総合政策部	2	産業振興部	9	選挙管理委員会 事務局	2
市民活動推進部	9	環境部	4		
総務部	2	まちづくり計画 部	14		
財務部	1	まちなみ整備部	10		
生活安全部	13	道路事業部	15		
健康福祉部	5	学校教育部	32		
こども家庭部	13	生涯学習 スポーツ部	11	合計	142

(2)所管別件名一覧表

総合政策部		2件
発言番号	件名	開催日
42	市構想の広報での周知	5月29日
76	市長の「はちおうじのまちづくり」	6月26日

市民活動推進部		9件
発言番号	件名	開催日
1	学校を核としたコミュニティづくり(報告)	5月15日
12	マンションでのコミュニティづくり	5月15日
26	やまゆり館の開館日の統一	5月22日
27	やまゆり館の駐車場の増設	5月22日
31	公園アドプト制度	5月29日
33	湯殿川沿いの遊歩道の安全対策	5月29日
54	多摩ニュータウンのコミュニティ	6月 5日
90	小宮駅周辺の防犯対策	7月 3日
91	市民会館の移設	7月 3日

総務部		2件
発言番号	件名	開催日
25	地域活性化の一方策	5月22日
41	利用されていない地区図書室のパソコン	5月29日

財務部		1件
発言番号	件名	開催日
51	土曜日学習の実施	6月 5日

生活安全部		13件
発言番号	件名	開催日
6	学校安全ボランティアをして感じたこと	5月15日
12	マンションでのコミュニティづくり	5月15日

30	青少年対策第七地区委員会の活動(報告)	5月29日
44	行政防災無線による選挙期日の周知	5月29日
45	行政防災無線による犯罪情報の提供	5月29日
48	警察官の巡回	6月 5日
56	南大沢地区への警察署の設置	6月 5日
57	不審者情報の伝達方法	6月 5日
64	北野台自治会の防犯への取り組み(報告)	6月26日
65	防犯ブザーの周知と必要性(報告)	6月26日
68	あいさつ運動の推進	6月26日
80	青少年対策石川地区委員会の活動(報告)	7月 3日
90	小宮駅周辺の防犯対策	7月 3日

健康福祉部

5件

発言番号	件名	開催日
11	マンションのバリアフリー化	5月15日
29	ボランティア委員の募集	5月22日
32	手話通訳者の依頼方法	5月29日
70	銭湯でのコミュニケーションの醸成	6月26日
92	医療の分散化	7月 3日

こども家庭部

13件

発言番号	件名	開催日
10	有害ビラの投入防止	5月15日
30	青少年対策第七地区委員会の活動(報告)	5月29日
49	子育てとまちづくり	6月 5日
59	南大沢駅前の複合商業施設計画	6月 5日
60	乳幼児医療費助成制度	6月 5日
66	スケートボード等ができる場所の設置	6月26日
68	あいさつ運動の推進	6月26日
75	子ども家庭支援センターへの協力	6月26日
80	青少年対策石川地区委員会の活動(報告)	7月 3日
81	放課後の子どもたちの居場所づくり	7月 3日

82	子どもたちが気軽に相談できる場所	7月 3日
83	親と暮らせない子どもの養育	7月 3日
85	風俗店の宣伝カーの規制	7月 3日

産業振興部

9件

発言番号	件名	開催日
4	学校安全ボランティア賛助会員制度	5月15日
5	学校安全ボランティア企業市民制度	5月15日
8	観光案内看板	5月15日
16	地元野菜を学校給食に取り入れること	5月15日
25	地域活性化の一方策	5月22日
49	子育てとまちづくり	6月 5日
59	南大沢駅前の複合商業施設計画	6月 5日
78	商店街の活性化	6月26日
79	八王子駅周辺の飲食店	6月26日

環境部

4件

発言番号	件名	開催日
71	あったかホールの利用	6月26日
77	自然環境の保全	6月26日
85	風俗店の宣伝カーの規制	7月 3日
86	昭島市ごみ焼却場によるダイオキシン汚染問題	7月 3日

まちづくり計画部

14件

発言番号	件名	開催日
7	八王子駅北口周辺の交通事情	5月15日
8	観光案内看板	5月15日
9	街中への椅子の設置	5月15日
15	バス路線の新設	5月15日
20	上川町の交通安全対策	5月22日
21	バス中継基地の設置	5月22日
22	圏央道のトンネルの名称	5月22日

24	パーク・アンド・バスライド構想	5月22日
36	ゆりのき通りの安全	5月29日
49	子育てとまちづくり	6月 5日
53	ラ・フェット多摩周辺の駐車場	6月 5日
59	南大沢駅前の複合商業施設計画	6月 5日
66	スケートボード等ができる場所の設置	6月26日
88	東放射線通り歩道の地下化	7月 3日

まちなみ整備部

10件

発言番号	件名	開催日
14	公園への子供会倉庫の設置	5月15日
23	公園や学校の遊具の安全性	5月22日
31	公園アドプト制度	5月29日
36	ゆりのき通りの安全	5月29日
38	公園アドプト制度に対する補助	5月29日
47	通学路等の植え込みの刈り込み	6月 5日
55	地域の交通安全対策	6月 5日
58	公園の死角	6月 5日
66	スケートボード等ができる場所の設置	6月26日
91	市民会館の移設	7月 3日

道路事業部

15件

発言番号	件名	開催日
7	八王子駅北口周辺の交通事情	5月15日
15	バス路線の新設	5月15日
17	中野上町の大雨時の雨水対策	5月15日
18	道路アドプトの安全対策	5月15日
20	上川町の交通安全対策	5月22日
28	自転車運転免許証の発行	5月22日
33	湯殿川沿いの遊歩道の安全対策	5月29日
36	ゆりのき通りの安全	5月29日
47	通学路等の植え込みの刈り込み	6月 5日

55	地域の交通安全対策	6月 5日
67	放置自転車のリームの提供	6月26日
72	横断歩道の移設	6月26日
84	捨て看板防止条例の重点区域の拡大	7月 3日
85	風俗店の宣伝カーの規制	7月 3日
90	小宮駅周辺の防犯対策	7月 3日

学校教育部

32件

発言番号	件名	開催日
1	学校を核としたコミュニティづくり(報告)	5月15日
2	地域の特性を活かしたPTA活動(報告)	5月15日
3	独自で行っているPTA活動(報告)	5月15日
4	学校安全ボランティア賛助会員制度	5月15日
5	学校安全ボランティア企業市民制度	5月15日
6	学校安全ボランティアをして感じたこと	5月15日
13	学校施設の利用	5月15日
16	地元野菜を学校給食に取り入れること	5月15日
23	公園や学校の遊具の安全性	5月22日
28	自転車運転免許証の発行	5月22日
30	青少年対策第七地区委員会の活動(報告)	5月29日
34	高尾山学園の周知	5月29日
35	地域の教育力の活用	5月29日
37	学校安全ボランティアへの取り組み	5月29日
39	学校職員の引き上げ	5月29日
40	小学校のトイレの改修	5月29日
43	高尾山学園に対する偏見	5月29日
49	子育てとまちづくり	6月 5日
50	中学校給食の実施	6月 5日
51	土曜日学習の実施	6月 5日
52	八王子の歴史を学校で教えること	6月 5日
62	小学校の統廃合の推進	6月 5日
64	北野台自治会の防犯への取り組み(報告)	6月26日

65	防犯ブザーの周知と必要性(報告)	6月26日
68	あいさつ運動の推進	6月26日
69	学校行事の日曜日実施	6月26日
73	校庭の芝生化	6月26日
80	青少年対策石川地区委員会の活動(報告)	7月 3日
81	放課後の子どもたちの居場所づくり	7月 3日
82	子どもたちが気軽に相談できる場所	7月 3日
87	防犯ブザーの電池交換	7月 3日
89	障害児の普通学級受け入れ	7月 3日

生涯学習スポーツ部

11件

発言番号	件名	開催日
8	観光案内看板	5月15日
19	陶鎔サタデーコミュニティの活動(報告)	5月22日
26	やまゆり館の開館日の統一	5月22日
27	やまゆり館の駐車場の増設	5月22日
41	利用されていない地区図書室のパソコン	5月29日
46	松木小学校地区サタデースクールの活動(報告)	6月 5日
52	八王子の歴史を学校で教えること	6月 5日
63	由井第一小学校地区サタデースクールの活動(報告)	6月26日
66	スケートボード等ができる場所の設置	6月26日
74	サタデースクールに対する委託料	6月26日
81	放課後の子どもたちの居場所づくり	7月 3日

選挙管理委員会事務局

2件

発言番号	件名	開催日
44	行政防災無線による選挙期日の周知	5月29日
61	選挙の投票所	6月 5日

4. 要望、市長答弁要旨及び担当所管

【中央地域】

平成 16 年 5 月 15 日 (市役所本庁舎)

発言 番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
1	<p>第一小学校のエリアは、旧住民と新住民が混在しているエリアであり、PTAとして感じていることは、旧住民と新住民のコミュニティの温度差である。「地域とともにつくろう豊かな教育環境」というスローガンを掲げ、新住民のコミュニティを学校と子どもたちを核にして考えていく事業を今後企画するので、指導・協力を願う。(小山 好昭)</p>	<p>学校教育部 市民活動推進部</p>
2	<p>(1) 不審者による被害が起きる可能性のある危険個所があり、学校と町会の連名で市に改善要望書を提出する事業を行っており、現在も第一小学校西側の公衆トイレとガードレールの改善の要望を出している。</p> <p>(2) 地域内で不審者による被害が発生した時、各町会の回覧板により周知をしてもらっている。昼間は商店、企業にも情報提供し、協力をしてもらっている。</p> <p>(3) 各町会に依頼したり、マンションの管理人は全員お願いし、学校安全ボランティア制度に2ヶ月間で265名が応募し協力している。</p> <p>(4) 小学校PTA連合会の事業で「ピーポくんの家」という事業があるが、第一小学校エリアでは、50m間隔で計100件設定している。また、商店街については全ての商店が対応するよう申し合わせしている。(小山 好昭)</p>	<p>学校教育部</p>
3	<p>(1) PTAで腕章をつくり、全家庭に配布し、朝の通学時の送り出し時に着用したり、午後3時半から4時半まで、甲州街道バイパスの南北をそれぞれ1チームずつ計4人で毎日1時間パトロールをしている。</p> <p>(2) 全家庭のお母さん方の自転車にパトロール中という黄色いプレートをつけて回っていただく事業を行っている。</p> <p>(3) (学校独自で行っているもの) 毎日、最終下校時刻に教員が近隣交差点で防犯や交通安全指導を行っている。今年度から授業としてセーフティ教室を行う予定。</p> <p>(4) (16年度PTA新事業) 青少年対策委員会や町会や商店と協力している。様々な事業に参加・参画するため、PTAの父親だけで環境整備特別委員会を設置した。(小山 好昭)</p>	<p>学校教育部</p>

【中央地域】

平成 16 年 5 月 15 日 (市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
4	各商店に賛助会員になってもらい、安全ボランティアの腕章をつけた買い物客には割引したり、記念品を出したりする学校安全ボランティア賛助会員制度をつくってはどうか。(小山 好昭)	面白い提案と思う。商店が理解を示してくれるかどうか、商店にとってもメリットがあると思ってもらえるかどうかだと思う。商店会の人に会う機会があるので話してみたい。	学校教育部 産業振興部
5	社員の出勤の時間帯が登・下校時間帯と合う企業に参加してもらい、交代で腕章を付けて通学路等を歩いてもらう学校安全ボランティア企業市民制度をつくってはどうか。(小山 好昭)	実際にやっているということでもあり、可能性がある。みんなで地域を見守っているという姿勢が一番大事なことだと思う。いいことを提案してもらった。機会を見て企業にお願いしてみたい。	学校教育部 産業振興部
6	子どもたちへの声かけは重要な行為だと思う。安全ボランティアは防犯にも役立つと思う。登校時よりも下校時は子どもがばらばらになり、安全ボランティアの必要性が高いので、引き受けた人は遠慮せずに腕章を付けて回ってほしい。(中村 一男)	声かけ、あいさつは子どもたちのためにも、地域の防犯のためにも大事だと思う。市の全ての車両に防犯パトロールという看板をつけ、職員が外に出る際には腕章を着用している。また、郵便局にもお願いし、郵便配達時に腕章を着用してもらっている。町会へも腕章を配布している。今後もこのような運動を展開していきたい。	学校教育部 生活安全部
7	京王プラザホテル入口周辺の信号が整備されていない。車で甲州街道側から真つすぐ来て、駅の前に行くところがない。歩行者用は横切るところにもない。八王子駅側から京王八王子駅に行くには、左を見たり右を見たりしていかないと横切れない。(中村 一男)	そこは歩行者にとっても車にとっても非常に難しいところであるので、今、検討している。警察と市でどうすればいいか協議している。究極的にはデッキを伸ばすとよいが、今は財政的にも厳しい。いずれ考えてみたい。	まちづくり計画部 道路事業部
8	最近、非常によい看板が駅前や八日町の角等にできた。八王子が全体的に分かるもので、色刷りで地名や歴史の説明付で写真があって観光的にもよい情報となる。(中村 一男)	観光を産業の一つとして位置付け、高尾山のみならず、あらゆる観光資源を大切にし、大勢の方に来ていただくと考えている。観光案内の充実の一環で始めたもの。道路元標は国土交通省でつくったものであるが、目立たないので考えたい。甲州道中八日市宿跡についても目立たないので今検討中。	産業振興部 まちづくり計画部 生涯学習スポーツ部

【中央地域】

平成 16 年 5 月 15 日 (市役所本庁舎)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
9	バリアフリーの問題として、駅に至る道に、高齢や病気であまり歩けない人が休むための椅子を設置してほしい。商店会の方が置いてくれるのもよいと思う。(中村 一男)	バリアフリーへの配慮として、一定の距離に椅子があると便利である。高齢社会に近づいており、高齢者の社会参加のためにも大事であるので検討してみたい。	まちづくり計画部
10	マンションの郵便受けにビラを入れられることを防止する方法はないか。マンションでない一般の家庭も同じか。(久保 正憲)	商行為なので違法にならず、行政としては取り締まりや禁止ができない。マンションでなくても同様である。	こども家庭部
11	マンションの建物から私道等へ出るところの段差を無くしたいが、以前市に相談したら自費でといわれた。何か手伝ってもらえないか。(久保 正憲)	民地の部分であれば、マンションでやってもらうしかない。現状、補助もない。	健康福祉部
12	マンションの管理組合として、コミュニティの形成で苦勞している。市としてもコミュニティに関心を持たない人に啓蒙してほしい。(久保 正憲)	大変だと思うが、管理組合でリーダーシップをとって、コミュニティの必要性を訴え、住んでいる方々の交流を図ってほしい。そうすることがマンションの安全のためにもよい。	市民活動推進部 生活安全部
13	学校(校長先生)によって、校庭での喫煙や体育館での子供会のお泊り会を認めているところとがあるが、なぜ学校によって異なるのか。(和田 恭一)	教育の場である学校敷地内で喫煙してほしくないが、現在は学校独自の判断としている。体育館への子どもの宿泊の判断も学校に任せている。校長には、地域の皆さんの力を借りながら学校教育をするように言っている。校長と話をして解決してほしい。	学校教育部
14	子供会の倉庫を公園に設置したいと公園課に申し入れたが、断られた。地域の発展に貢献する子供会の用具置場なので是非一考願いたい。(和田 恭一)	心情的にはよく分かる。何とかしたいが、他にも同様に困っているところも多数あり、元本郷の子供会だけ認めることは難しい。ちょっと大きめの清掃道具を置くということをヒントに考えてはどうか。	まちなみ整備部
15	めじろ台から甲州街道(並木町)を通じて八王子駅へ行くバス路線を考えられないか。散田からめじろ台の人は不便を感じている。(久下 勝)	あれば便利だろうとは思いますが、バス会社にとっては採算が取れなければならぬ。ニーズが高いようであれば、はちバスの路線で研究をする。すぐに解決は難しいと思うが調査をする。	道路事業部 まちづくり計画部

【中央地域】

平成 16 年 5 月 15 日 (市役所本庁舎)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
16	<p>環境の視点から見ると、地産地消ということで、地域の野菜を地域の学校が取り入れることがいいことだと思うが、八王子市における学校給食の方針を教えてほしい。</p> <p>(関口 志津子)</p>	<p>賛成である。取り組んでいる学校もあるが、量や種類の問題で全部の学校ではやっていない。東京で初めての道の駅を市内に設置し、八王子産野菜等を中心とした特産物の大型直売所を作る予定なので、生産者も安心し、学校への安定した供給ができると期待している。</p>	<p>産業振興部 学校教育部</p>
17	<p>中野上町に、台風等大雨時、土嚢を積まなければならないところがあるので対応してほしい。(中野上町郵便局北側)</p> <p>(荻谷 幸夫)</p>	<p>下水道ができると、一定の解決をす ると思うが、現場を見させる。</p>	<p>道路事業部</p>
18	<p>市役所から陣馬街道までの間の道路・歩道を清掃するため、道路アドプトを発足した。車道に出て清掃する際の安全対策として「清掃中」の看板等を考えているが、予算も含めてよい知恵があれば貸してほしい。</p> <p>(菅沼 昭次)</p>	<p>地域の皆さんにこうして管理していただく大変ありがたいが、歩道に限定していただきたい。市民の身に危険が生じるようでは、本来の趣旨と違ってしまふ。看板やポールについては検討してみる。</p>	<p>道路事業部</p>

【西部地域】

平成 16 年 5 月 22 日 (川口市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
19	<p>陶鎔サタデーコミュニティは、地域の子どもたちを健全に、なおかつ安全に、地域ぐるみで育む場として、陶鎔小学校に関連する犬目町会を中心とした近隣町会、自治会の協力で開催している。開催は毎月第 1 土曜日の午前中。地域全体が学校を中心に、子どもたちを健全に教育し、大人同士も仲良くなろうということで自発的に発足した。各家庭への希望調査の結果、バドミントン、ソフトボール、花、護身術等 12 講座を開設している。指導者やサポーターも地域の方で運営している。参加は義務ではないが、安全やマナーについての約束事を 8 項目定めた。原資は、市からの補助金と地域、PTA 等によるバザーの売上金。活動場所は学校、会館、八王子北高校等。</p> <p>(滝島 晴美)</p>	生涯学習スポーツ部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
20	<p>上川トンネルからくる車や美山方面から戸沢峠を越えてきた車が、秋川街道の渋滞避けて農道に入ってくる。子どもや老人が危険にさらされており、戸沢峠から上川トンネルへの貫通促進等の対策も含めて対策を進めてもらいたい。</p> <p>(石橋 亨)</p>	<p>ハンプ、通行時間規制、一方通行等の対策は地域の皆さんの同意が必要。警察とも協議中なので、もう少し時間がほしい。根本的にはクランクの解消であり、東京都に強く要請しているが、すぐには解決できないのでそれまでの安全対策を考える。</p>	道路事業部 まちづくり計画部
21	<p>圏央道上川高架橋下のスペースをバスの中継基地にしてほしい。また、五日市・あきる野方面との交流も含めた形で、バス路線の現状は確保してほしい。</p> <p>(石橋 亨)</p>	<p>面白い案だと思うが、実際に可能かどうかは検討してみる。</p>	まちづくり計画部
22	<p>上川高架橋左右のトンネルの名称は、後世に残る大事な問題なので、地元に着した名前をつけたいと願っていることを知ってほしい。</p> <p>(石橋 亨)</p>	<p>事業者だけが納得するものではなく、地域の皆さんに馴染んでもらえるような名称がよいと思う。皆さんのご意見も伺いながらいろいろ検討し、協議をする。</p>	まちづくり計画部
23	<p>公園または学校等に設置してある児童遊具の安全性を市は点検したか。また、その結果はどうだったのか。不備があった場合はどの様に処理したか。公園の砂場が犬猫のふんで不潔になっているが、対策はどう考えているか。</p> <p>(伊藤 智昭)</p>	<p>学校関係は、年 1 回安全点検を行っている。公園については、平成 15 年 5 月及び本年 4 月に一斉点検を行い、異常のあるものについては、撤去若しくは修繕した。ふんについていろいろな衛生対策があるが、長期的に効果があるものが今のところない。年に 5 回攪拌・天日干しを行っている。</p>	まちなみ整備部 学校教育部

【西部地域】

平成 16 年 5 月 22 日 (川口市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
24	上川地区の中学生は、バス通学をしているが、運行本数や渋滞により不便を強いられており、バスが定期的に走ることが必要である。パーク・アンド・バスライド構想は、実態調査等も不十分で、あまり期待できない。実施時期を遅らせても、十分に調整をした上で実施してほしい。(高野 正美)	この地域の交通事情はよく承知している。都議会でも改善の努力を真剣にするべきだという質問をしたことがある。パーク・アンド・バスライドについては、調査状況をよく確認してみたい。初めての試みであるので、まずやってみて改善点が出たら解決していきたい。	まちづくり計画部
25	当地域は、住環境整備が十分でないため、若年者が少なく、地域活力が乏しいという問題点がある。その解決策の一つとして、比較的投資金額が少なく、効果が見込める光ファイバーの利用を早期に実現することを提案する。(小谷田 幸夫)	NTTも民間企業なので、採算が合わなければ、行政から要求しても限界があるが、機会をみて要望していく。NTTのホームページへ町会単位で利用希望登録をすれば効果的であり、それを市がプッシュしていく。	産業振興部 総務部
26	やまゆり館は、市民センター、図書館、公民館の3施設からなっているが、年間開館日数に大きな差がある。開館日を統一(多く)することで分かりやすくなり、市民サービス向上や地域ぐるみの子育てに寄与すると思う。(秋山 勝男)	市民センター、図書館、公民館の運営形態は異なっているが、ニーズが高まれば考えていきたい。費用対効果が大きくなければ市民の理解が得られない。利用度について調査をする。	市民活動推進部 生涯学習スポーツ部
27	やまゆり館の駐車スペースは66台あるが、土日・祭日等の利用者の多いときには満車になってしまう。緑化率を変えるなどして、駐車場を増設してほしい。(秋山 勝男)	土日等、催しものがあるときは不足するのは分かるが、他の地域と比べると少なくない。乗り合わせて来館してもらう等の協力をお願いしたい。また、都条例により一定の緑化義務があり、守らなければならない。	市民活動推進部 生涯学習スポーツ部
28	子どもたちの自転車運転のマナーが悪い。自転車安全教室を各小学校で開き、学科と実技の試験を行い「自転車運転免許証」を発行することを提案する。既に取り組んでいる行政では、自転車による事故が激減したと聞いている。(山下 房次)	荒川区で行っているのは承知している。本市では、清川と東浅川に交通公園があり、交通安全教育指導員が学校へ出向くなどして「自転車の乗り方教室」等を実施している。公共交通機関が十分でない地域では、自転車の利用率も高いと思うので、検討してみたい。	道路事業部 学校教育部

【西部地域】

平成 16 年 5 月 22 日 (川口市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
29	ボランティア委員を募集し、いろいろな政策を実施することを提案する。 例えば、成人講座や結婚相談(出会いの広場)など予算の都合等で廃止された事業を、ボランティア委員により検討や実施するとよいと思う。 (村田 市郎)	最近では、公園や道路の歩道管理等、幅広くいろいろな分野で、市民の皆さんにより熱心なボランティア活動が行われており大変ありがたく思っている。住民協議会のボランティアにも是非参加していただき、地域のため力添えをお願いします。	健康福祉部

【西南部地域】

平成 16 年 5 月 29 日 (横山南市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
30	第七中学校の青少年対策地区委員会では、活動を広げていった結果、お父さんたちにもお手伝いいただいている。呼びかけの結果、毎月 2 度ほどのパトロールのときに 15 名以上参加していただくようになり、お母さんたちも大変助かっている。学校の先生たちも協力的で、校長・教頭を始め、諸管轄の先生方も参加していただき、多くの人で地域を回っており、あいさつ運動にもつながっている。多くの目で子どもを見守れる環境ができている。今後も、一人でも多くの方に関心を持っていただき、防犯に努めたい。(内田 正)	こども家庭部 学校教育部 生活安全部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
31	地域の一人ひとりが身近にある問題を一緒に考え、気持ちよく助け合える地域にして次の世代に渡せたらと思ひ、その手がかりとして、公園アドプト制度を利用させていただいている。活動を通じて少しずつ足がかりを見つけ、気がついたら、小さな子からお年寄りまで一同に会している、そんな夢を描いている。(小嶋 紀子)	地域の皆さんに公園を大事にしていたら、そして、管理もしていただくということでアドプト制度を始めた。是非、これが広がっていくように願っている。また、公園へのトイレ設置も年に 1、2 箇所となかなか要望に応えられなかったが、管理をしていただくことで増やすことも考えられる。	まちなみ整備部 市民活動推進部
32	民生委員活動の中で、耳の不自由な方と接する際の手話通訳者の派遣は、耳が不自由な方本人からの依頼でなくてはならない。民生委員から、直接手話通訳者の派遣を依頼できる方法をとっていただきたい。(岸 幸子)	プライバシーの問題があり、本人からの派遣依頼を求めている。本人に手話通訳者を依頼することの了解を得ている旨を添えて申し出ただければ、対応できるようにする。	健康福祉部
33	横山第一小学校の裏手の湯殿川は、遊歩道が整備されつつあるが、街灯がなく防犯上問題がある。街灯の設置や桜を植えるなど、人通りを増やすことも必要ではないかと思う。対策を講じてほしい。(黒沢 栄)	街路灯は町会・自治会につけていただき、市が補助している。町会の方へも話をしてほしい。桜を植えることはいいことだと思うので、工夫してやりましょう。	道路事業部 市民活動推進部
34	残念なことに高尾山学園の理解があまりされていない。何か変わった学校ができたというイメージでとらえている方も地域にはいる。地域に対して、もう少し PR の仕方があったらよかったです。(黒沢 栄)	地域に対して、周知が足りなかったとしたら、大変申し訳なく思っている。これからも、いろいろな機会をみて、皆さんに理解していただき、応援していただける学校にしていきたい。	学校教育部

【西南部地域】

平成 16 年 5 月 29 日 (横山南市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
35	<p>自治会長が、小学校で6年生を対象に「夢」についての話をしたところ、子どもたちが感動し、感想文を寄せてくれた。地域の町会・自治会の長老クラスの方々が学校で、いろいろな立場で話ができると素晴らしいと思った。</p> <p>(森田 裕)</p>	<p>学校、家庭、地域の教育力が三位一体となって健全な子どもは育つと考えている。今、大事なことは地域の教育力である。総合的な学習の時間等に地域の皆さんの力をお借りして、学校で教えること以外のことを教えていただくのは大変有益だと思っている。</p>	<p>学校教育部</p>
36	<p>ゆりのき台は、地区計画があり、それを守ってきた。ところが、最近この地域で歩道を切り下げる・樹木を切るということが許可されてしまった。メイン通りに面し、通行上非常に不安である。今後、どのように景観を維持し、安全を確保していけばよいのか。</p> <p>(森田 裕)</p>	<p>地元から要請をいただいたのに、きちんと応えられなかったのは、私どもの手落ちである。本来ならば、地元の皆さんの声を聞いてまず現場を見て、業者には今までのまちづくりの経過・歴史をきちんと話をして、理解を求めるのが手順だと思う。</p>	<p>まちづくり計画部 まちなみ整備部 道路事業部</p>
37	<p>町会役員全員に学校安全ボランティアの登録してもらった。また、婦人会の方にも参加してもらった。これからも、一人でも多くの方々に参加してもらい、大勢の方が絶えず腕章をしてまちの中を歩くことを推し進めていきたい。</p> <p>(瀬沼 弘)</p>	<p>学校安全ボランティアに登録している方が 6,500 名になった。自分たちの地域は自分たちで守るという趣旨が、多くの皆さんに理解されるようになったということだと思う。大変ありがたいことであり、心強く思う。</p>	<p>学校教育部</p>
38	<p>公園アドプト制度に参加しているが、お茶代等経費がかかる。私たちが公園をきれいにすることによって、公園にかかる市の予算が浮いているのではと思う。その予算で少し補助していただくと助かる。</p> <p>(小嶋 紀子)</p>	<p>できれば何とかしたいが、できない。我々も工夫して、無駄なお金は使わないようにして、その代わり必要などころには予算をつけている。市民の皆さんができることは、是非力を貸していただきたい。</p>	<p>まちなみ整備部</p>
39	<p>学校職員の引き上げや嘱託化を検討していると聞く。本来一番安全な場所のはずの学校が、危険な場所になりつつある。警備員の配置や職員は防犯上必要な部分なので、引き上げを検討しないで増強してほしい。</p> <p>(黒沢 栄)</p>	<p>市の事務職ではなく、嘱託員でやっているところはたくさんある。現実には、嘱託員で十分できる。そういう工夫をし、学校の環境整備に少しでも回していく努力をしていきたい。</p>	<p>学校教育部</p>

【西南部地域】

平成 16 年 5 月 29 日 (横山南市民センター)

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
40	横山第一小学校は大変古く、トイレが本当に汚い。家では洋式便所が主流で、学校ではほとんどしない。堂々と学校でできるのが本来である。是非検討していただきたい。(黒沢 栄)	古い学校のトイレの改修については、学校を建てかえるほどお金が必要なのではないので、何とか努力して予算をつけていこうと思っている。	学校教育部
41	各地区図書室にパソコンが入ったが、ほとんど利用されていない。パソコンを開いてない地区もあるようだ。市の財政が豊かなときならともかく、大変なときにそういうパソコンを置いてもったいないと思う。(長沢 淑子)	各地域の図書室から中央図書館に直接検索ができるようにという要望にお応えして設置したが、使われてないとなると、現実とのギャップがあるということ。他の公共施設の検索用パソコン等も含め、どの程度の稼働率なのか調査してみる。	生涯学習スポーツ部 総務部
42	市の構想はたくさんあるのだろうが、一番大事なことを二つぐらい、広報の紙面で訴えてはどうか。一番早く直線的に考えが伝わる漫画的なものをどんどん入れて訴えることが近道だと思う。(野倉 光男)	一つのご意見として受けとめさせていただきます。	総合政策部
43	高尾山学園に子どもを通わせている両親が、学園に対する周囲の偏見があり、残念に思っているということを知った。市長に高尾山学園を説明いただき、地域の偏見をなくしていただきたい。(清水 江美子)	非常に残念だと思う。不登校となってしまう子どもたちに生きる勇気や自信を持たせる学校をつくりたいと思った。是非ご近所の方は変な偏見を持たないで、応援していただきたいと思う。	学校教育部
44	最近の選挙は投票率が低いので、投票日の前日と当日に防災無線を使って投票を呼びかけるようお願いしたい。(梁 富春)	そういう声を随分いただいているので考えてみたい。よそのまちでも、防災無線を使っているところがある。これは検討してみたいと思う。	選管事務局 生活安全部
45	通り魔がどこの地域にあったという情報を、防災無線を使ってPRすれば、皆さんが気をつけると思う。(梁 富春)	お年寄りが行方不明、お子さんがいなくなった時などは、警察と相談しながら使っている。通り魔などは、愉快犯もいるので判断が難しい。効果がなければいけないので、考えながら対応をしていきたい。	生活安全部

【東部地域】

平成 16 年 6 月 5 日（柏木小学校体育館）

発言番号	地域活動報告（発言者）	担当所管
46	平成 14 年 6 月に松木小学校地区サタデースクール、通称寺子屋としてスタートした。「子どもたちが自分の好きなことを探して、個性を伸ばせる場所作りをする。」「地域の大人と子どもが、ともに学びながら楽しい交流の場ができるようにする。」「松木・長池小学校の両児童が、松木中学校に入学するときに既に友だちになれるような場所をつくる。」の三つを目標に役員やスタッフが全員で努力している。地域の小中学校を会場に第 1 土曜日の午前中に開催し、200～250 名の参加者がある。また、キャンプや作品の展示、「まつぼっくり」という通信を月 1 回発行している。 (石井 敏男)	生涯学習スポーツ部

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
47	毎年、業者が立ち木の伐採や植え込みの刈り込みをしているが、時期を見直し、一過性でなく、計画的に実施してほしい。特に通学路や防犯上危険と思われる地域を、夏休み中に是非やってほしい。 (淡路 二正)	予算等の関係で、刈り込みの回数が減っている部分もあると思うが、おっしゃられたことは当然だと思うので、現地をよく見て夏休み中に実施する。公園の低木の刈り込みや歩道の草刈り等は、ご協力いただきたい。	道路事業部 まちなみ整備部
48	警官が月に 1 回 1 時間でも地域を定期的に回って、犯罪の抑止効果を発揮してもらいたい。交番のなかでは、痴漢は捕まらない。外で先行チェックすることで、抑止効果がでると思う。 (淡路 二正)	警察官の巡回は、犯罪抑止効果として極めて大きいと思っており、さらに要請していく。子どもたちを守るという点では、地域の皆さんのパトロールや、登下校時に顔を見せていただくことも大きな力になるので、さらにお力添えをいただきたい。	生活安全部
49	地域で子どもたちを育むためには、大人たちの姿を見せることが大切だと思う。地域でがんばっている人たちが、まちの中でどうまちづくりをするかが一番大事。多摩ニュータウンは地区計画ができていない。この地域はどういうまちにしたらいいかということを考えてもらいたい。公団に任せきりでは、よいまちにならない。 (鈴木 亨)	多摩ニュータウンが継続性のあるまちづくりをしていくにはどうすればいいのか、大変大きな課題である。地域の産業を子どもに知ってもらい、教育にも生かしていきたい。	まちづくり計画部 産業振興部 学校教育部 こども家庭部

【東部地域】

平成 16 年 6 月 5 日（柏木小学校体育館）

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
50	子どもたちが健全に成長していく過程において、栄養バランスのとれた食事が必要と考えている。学区域内の小学校の給食室で作った給食を中学校に提供できないか。（白水 嘉奈子）	現在の財政状況では、非常に厳しい状況である。小学校の給食施設を活用する方法は、検討させている。ただ、全部ができず、一部では、不公平感が出るので、それも検討している一つである。	学校教育部
51	学校完全週 5 日制の導入により、学力が低下しているように思う。構造改革特区を申請して、土曜日に読み書き、そろばんの学習をしてほしい。人材と費用は地域で考え、例えば、ミニ公債を発行して、教師の O B 等に来てもらってはどうか。（白水 嘉奈子）	週 5 日制は、学校教育法で決まっております。授業をやってはいけないことになっている。2 学期制にして休みをずらすとか、夏休みを減らすこともできるので、地域の皆さんの合意や、必要性も学校に理解してもらい、工夫していただければいいのではないかと考えています。ミニ公債は、効果があると思うものは、取り組んでいきたい。	学校教育部 財務部
52	八王子市はすごく歴史が古い。千人同心のことなど、八王子の歴史を学校の先生方に教えていただくと、子どもたちがいいまちだと感じると思う。（白水 嘉奈子）	八王子には、すぐれた歴史遺産や地域の文化がある。それらを知ることは、ふるさと意識を持っていただくために非常に重要なことだと思っている。八王子の歴史を知っている教員ばかりではないので、サタデースクール等を活用していただき、地域の先輩の皆さんから教えてもらい、地域の教育力、地域の人材を活かしていただきたい。	学校教育部 生涯学習スポーツ部
53	ラ・フェット多摩の駐車場に入る車両が列をなしてしまう。周辺道路は、片側 1 車線だけでも十分通行が可能なので、その範囲を使い、路上駐車場をつくってはどうか。（小川 博史）	南大沢周辺に 2,300 台余りの駐車場があり、数としては不足していない。ちょっと足を伸ばせば必ずとめられる。道路が 2 車線あるから、1 車線を駐車場にするのは賛成できない。ラ・フェット多摩に、もう少し広い範囲で駐車場への誘導をして、駐車待ちの車が長時間滞留しないように話をする。	まちづくり計画部

【東部地域】

平成 16 年 6 月 5 日（柏木小学校体育館）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
54	多摩ニュータウンを 12 等分して、月に 1 回程度各ブロックで、他の地域の人を招き入れるイベントをしてみたい。他の地域との交流を深めつつ、地域の中の防犯、防災の人脈づくり、近所付き合いも深めていけたらと思う。（小川 博史）	フラワーフェスティバル由木や市民センター祭りをやっている。何をやっても参加する意思がなければうまくいかない。機会があれば、新しい市民の皆さんにも積極的に参加していただきたい。最初は勇気が要ると思うが、すぐに地域に慣れていただけると思う。	市民活動推進部
55	まつの木保育園の近くの道路、交差点は、野猿街道、ニュータウン通りの抜け道のため交通量が多く、横断歩道があっても車優先の傾向があり、歩行者が常に危険にさらされている。そこで、①信号機の設置、②交通標識やカーブミラーを覆う木の剪定。③徐行を促すハンパの設置、④スクールゾーンの設置等をお願いしたい。（森 暁）	交通事故の最大の原因は、運転のマナーが悪いこと。信号機は、交通全体の流れを考えるとやたらに設置できない。普通の道路にハンパをつけることは難しい。減速を促すゼブラならできる。樹木が生い茂り、標識が見えにくい場所は剪定をする。できるだけ事故に遭わないような自己防衛も考えていかないと、100%防ぐことにはならないと思う。	道路事業部 まちなみ整備部
56	南大沢地区も不審者情報が後を絶たない。住民も増え、休日人口も増加している。警察署の早期完成と、警察署完成までの警察官の増員をお願いしたい。（増山 眞佐子）	警察官の増員は犯罪抑止力になるので、強く要請している。警察署ができるまで、何とか増員してほしい、パトロールの回数を増やしてほしいというお願いを警察にしている。	生活安全部
57	現在、不審者情報の伝達方法は、子どもたちの通う学校からのお知らせに頼るしかない。以前テレビで、希望する保護者の携帯電話にメールで不審者情報を伝達する試みがなされていると聞いた。八王子市でもそのようなシステムを構築していただきたい。（増山 眞佐子）	不審者情報については、ホームページに掲載している。また、町会・自治会に対しては、Eメール等を利用して提供している。ファックスも活用していきたいと思っている。今後、さらに密度の高い情報提供ができるように考えていきたい。	生活安全部
58	南大沢地区は、幼児や児童、学生の数も多く文教地区であると考えており、まちづくりにはいろいろな面で考慮する必要がある。その一つに、公園の死角の問題がある。子どもたちの目線で整備すれば不審者が入りにくくなるのではないかと。（増山 眞佐子）	公園の死角の解消は大事なことだと思う。具体的にどういうところがあるのか、それによって対応したいと思う。	まちなみ整備部

【東部地域】

平成 16 年 6 月 5 日（柏木小学校体育館）

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
59	<p>南大沢駅前に複合商業施設の計画があり、パチンコ店が含まれているとのこと。子どもたちの健全な育成という観点から、都市計画の段階で考慮していただくようお願いする。</p> <p style="text-align: right;">（増山 眞佐子）</p>	<p>パチンコ店だけを規制するのは法的な根拠も難しい点もある。環境のいいまちづくりは、都市計画の時点から考えることの一つだと思う。また、しつけが家庭の中で大事なことの一つだと思う。そういう視点からの子育て、地域の教育力を高めていただくことも大事なことと思う。</p>	<p>産業振興部 まちづくり計画部 こども家庭部</p>
60	<p>乳幼児医療助成について、10 年前に医療証の申請をしたが、郵送期間の関係で立替払いをするよう言われて支払いをした。その後、担当者が変わって分からないとの対応をされている。</p> <p style="text-align: right;">（丸山 登志江）</p>	<p>ここでは適切なお答えができないので、後刻担当のほうから責任を持ってきちんと話をさせる。</p>	<p>こども家庭部</p>
61	<p>選挙の投票所に体育館を使うことがある。整理上、出入口が分かれており、雨が降ると入口に傘を置き、投票後出口から出て、結局入口に戻るため、混乱していることがあるので、直した方がいいのではないかと思います。</p> <p style="text-align: right;">（丸山 登志江）</p>	<p>適切にご提言をいただいた。</p>	<p>選管事務局</p>
62	<p>この地域では、小学校の統廃合問題が最大の関心事であるが、当面 2 校というあいまいな状態に置かれている子どもたちは非常に不安定である。松が谷小学校は、2 校統合されても依然として単学級があり、問題が多い。是非とも、松が谷・鹿島地区を早急に 1 校に統合にていただきたい。</p> <p style="text-align: right;">（大谷 帛子）</p>	<p>単学級の解消が、この地域では必要なことだと思っている。きちんとした学校運営ができるためには、この地域では、やはり 1 校に絞っていくことがいいことだと考えている。もう少し時間をいただきたい。時期をみたいと思う。</p>	<p>学校教育部</p>

【東南部地域】

平成 16 年 6 月 26 日 (由井市民センター)

発言番号	地域活動報告 (発言者)	担当所管
63	<p>由井第一小学校地区サタデースクールは、平成 15 年度は 8 回開催し、14 の講座を実施し、延べ 466 人にご参加いただいた。講座の内容は、ものづくりとして折り紙や紙飛行機の作成、うどんづくり、校庭では、サッカー教室やレクリエーションゲーム、教養講座として英語や理科、パソコン教室、手話などを行った。また、本年度は初めて学校から出て、農業体験を行っている。運営委員会は、PTAのOBなので、PTAとの連携を図り、学校側にも全面的な協力をいただいている。</p> <p>(白石 賢一)</p>	生涯学習スポーツ部
64	<p>最近の児童生徒に対する不審者による事件の多発化に鑑み、北野台自治会は防犯協会北野台支部と協力し、地域の安全を高めるためにワンワンパトロール、てくてくパトロール、カーパトロール、自治会広報車による広報活動といった「防犯パトロール」を実施している。また、警察官が使っている連絡メモを自治会用にアレンジして、不審な人や車を発見した時の連絡用に「防犯連絡メモ」を作成しており、そのデータの蓄積をするようになっている。近隣の自治会・町会と力を合わせれば、非常に防犯に強いまちができるということで努力している。</p> <p>(杵野 信市)</p>	生活安全部 学校教育部
65	<p>小学生等が防犯ブザーを持っているが、防犯ブザーの音を知らない方が多いので、自治会でブザーの音と、ブザーが鳴ったときの対応の周知をしている。また、小学校の校門のところで、児童に対して、防犯ブザーを持っているかどうかの問いかけをして、持っていないという子どもには、根気よくその必要性、持ち方等を説明し、学校から防犯ブザーを借りるように対話している。</p> <p>(杵野 信市)</p>	生活安全部 学校教育部

発言番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
66	<p>最近の子どもたちは外で遊ぶことが少ないという反面、駅頭や自転車置場でスケートボードをしており、関係者に迷惑をかけている。子どもたちが、スケートボードや自転車で健全に遊べる場所を設置できないか。</p> <p>(小野澤 邦男)</p>	<p>好きなことや得意なことを見出す手伝いは必要なことだと思っている。平成 18 年に戸吹町へ総合運動場をつくる予定だが、そこに競技ができるスケートボード場をつくってあげたい。また、ひよどりトンネルの近くでは、子どものマウンテンバイクの練習場を親御さんたちがつくっているが、我々もそのお手伝いをしている。</p>	まちなみ整備部 生涯学習スポーツ部 まちづくり計画部 こども家庭部

【東南部地域】

平成 16 年 6 月 26 日 (由井市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
67	我々が子どもの頃に、自転車のリーム転がしをやった。子どもたちと大人が一緒になって遊べる競技もあってよいと思う。放置自転車のリームを各地区の青少年対策地区委員会や中学校に配布してほしい。(小野澤 邦男)	あの頃は遊ぶことが限られていたから楽しんだのだろうが、今ははやらないと思う。放置自転車で使えるものは直して、東南アジアに送っている。程度の悪い自転車もあるので、そういう要望があれば用意してもよい。ごく一部でも興味や関心を持つ子どもがいれば、是非使っていただきたい。	道路事業部
68	あいさつができない大人が増えているせいか、子どもにあいさつの大切さが十分認識されていない気がする。地域の大人たちが、登下校の子どもたちの姿を見かけたら、「行ってらっしゃい」、「おかえりなさい」と声をかけることが大切だと思う。(木田 博幸)	あいさつ運動は、大賛成である。最近はいいさつができない大人が多くなった。やはり教育のせいだと思う。防犯という観点からも、あいさつは大事なことである。八王子は、みんながあいさつできるようなまちにしたい。	学校教育部 こども家庭部 生活安全部
69	以前は土曜日の授業参観があったが、学校が完全週休 2 日制となつてからは金曜日開催となつてしまった。親がもっと参加しやすくなるよう、学校行事は日曜日にしてほしい。 (木田 博幸)	地域の協力をいただく中で、その地域の特性を活かした学校づくりを進めてほしいと言っている。日曜日が良いということであれば、そういう声を届けていただき協議をしてほしい。	学校教育部
70	もし、近所に銭湯があれば、月に 1 回ぐらい、親が子どもを連れて行き、ゆっくり入ってコミュニケーションを図ることもよい方法だと思う。 (木田 博幸)	銭湯がコミュニケーションの場になっていることは間違いないが、市内の銭湯は、7 つになってしまった。個人的には賛成だが、行政が促す問題ではない気がする。それぞれの思いで、心がけていただきたい。	健康福祉部
71	あったかホールの風呂は、60 歳以上が無料となっているが、それ以下の人は利用できない。高齢者はどんどん増えてくるので、無料がいいことだとは思えない。多少でもお金を取って、一般の人たちも利用できるようにならないか。 (木田 博幸)	高齢者人口が増えていく中で、公共施設の運営をどのようにするかということは、これからの課題として取り組まなければならないと思う。	環境部

【東南部地域】

平成 16 年 6 月 26 日 (由井市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
72	<p>昨年の「ふれあいトーク」でお願いした、北野台四丁目の横断歩道の移設は、補修センター所長によると優先順位が低いということで、時間がかかるという結論であった。(川人 敬俊)</p>	<p>優先順位が低いというよりも、その移設の必要性について我々の方で十分な理解をしていないことが原因である。もう少し研究させてほしい。</p>	道路事業部
73	<p>平成 18 年度で終わってしまう文部科学省の助成金を活用し、小学校の校庭を芝生にしてはどうか。芝生化は、子どもたちや環境に様々なメリットがあることが、他市の前例により明らかとなっている。(川人 敬俊)</p>	<p>校庭の芝生化はメリットがたくさんあり、私もいいと思っている。できることなら一部でもやりたいが、少し時間をいただきたい。今は、トイレの改良や耐震工事を進めており、財政状況からも、そこまで手を出せない。</p>	学校教育部
74	<p>サタデースクールの企画運営については、市からの委託を受け、委託料という形で資金面での援助を受けて実施している。援助がなくなると、参加者の負担が増え、参加者の減につながるかと危惧している。来年度以降も、資金の援助についてはお願いしたい。(白石 賢一)</p>	<p>一生懸命取り組んでいるところにはバックアップをしないではいけなと思っており、どういう方法がとれるか検討をさせる。</p>	生涯学習スポーツ部
75	<p>子どもたちのために、地域で個人的にできることは何かという問題意識を持ってやっている。あいている時間に子ども家庭支援センターで、お子さんの面倒を見ることをさせていただきたい。(遠藤 篤子)</p>	<p>遠藤さんの気持ちはすごくありがたい。今の段階でどういうお手伝いをいただけるかは分からないが、そういうお話をいただいたことは頭に入れておくので、何かでお役に立っていただきたい。</p>	こども家庭部
76	<p>市長として八王子のまちをどのようにしたいか聞かせてほしい。(山本 又一郎)</p>	<p>自然環境の保全や、医療の充実、産業の振興に取り組んでいる。具体的に上げれば切りがないが、皆さんがこうなったらいいなと思うことを、地域の皆さんと一緒に一つひとつ積み上げていくということがこれから大事なことだと思っている。</p>	総合政策部

【東南部地域】

平成 16 年 6 月 26 日 (由井市民センター)

発言 番号	要望要旨 (発言者)	市長答弁要旨	担当所管
77	<p>これ以上の自然破壊を止めてもらいたい。その方法はないのか。</p> <p>(山本 又一郎)</p>	<p>緑の豊かさは八王子の財産である。自然は一旦壊してしまうと、復元は非常に難しく、開発は最小限に抑えて可能な限り緑を守っていくことが大事なことだ。法律に基づいた開発を認めないことは難しい。究極は、買収して確保していく以外ない。公募債等（市民緑債）を募集し、計画的に取り組んでいきたい。今、検討をさせている。</p>	環境部
78	<p>甲州街道の旧商店街が、たくさん店じまいをしている。これを活性化する方法を聞かせてほしい。</p> <p>(山本 又一郎)</p>	<p>いろいろな角度から取り組んでいるが、頭の痛い問題である。意欲のある若手の方等が安い賃料で借りられるよう、商工会議所が中心となりその仲介役をしているが、古い店主の理解を得られない。地域のことを考え、もっとご理解をいただきたい。</p>	産業振興部
79	<p>八王子駅周辺は、落ち着いて飲む場所ではないような感じがする。ご一考願いたい。</p> <p>(山本 又一郎)</p>	<p>「黒塚に親しむ会」というのもできており、今、多摩地域で芸者さんがいるのは八王子だけである。これも一つの文化だと思っている。ゆっくりお酒を飲める場所もあるので、是非研究していただきたい。</p>	産業振興部

【北部地域】

平成 16 年 7 月 3 日（石川市民センター）

発言番号	地域活動報告（発言者）	担当所管
80	<p>青少年対策石川地区委員会では、「あいさつ運動」の輪を広げる取り組みをしてきた。また、違反広告物撤去活動や子どもたちによる地域清掃などを行っている。今までは一方的に大人が決めた行事を行ってきたが、子どもたちの心をつかむことが大事だということで、今年度は、意見・体験発表会を取り入れた。地域の安全安心を皆さんとともに作っていききたい。（井上 幸之助）</p>	<p>こども家庭部 生活安全部 学校教育部</p>

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
81	<p>放課後、子どもたちが自由に遊んだり、親や地域住民と一緒に各種活動や共通の趣味、話題などを楽しむことができ、縦のつながり、横のつながりが生まれるような施設（場）が必要に思う。（高橋 栄次郎）</p>	<p>それ専門の施設というのは難しい。今、学校はそれぞれ特色を出しながら、地域の皆さんと協力をして学校開放を進めている。地域の皆さんもさらに学校を活用していただきたい。また、市内には、児童館が 12 箇所あり、学童保育所も各小学校に一つを目指し設置しており、もう少しで全てがそろろう。</p>	<p>こども家庭部 学校教育部 生涯学習スポーツ部</p>
82	<p>最近の社会は物騒で、子どもを狙った犯罪が多く、内面的に不安定な子どもたちもそういったところから生まれてくるのではないか。こうした子どもたちが気軽に相談できる身近な施設があれば、もっと子どもたちも明るく、地域も活性化されて、明るいまちになるのではないか。（高橋 栄次郎）</p>	<p>スクールカウンセラーやメンタルサポーターといった学校での相談のほか、児童館でも受けている。また、教育センターに「こども電話相談」があるが、PR 不足の感があるので PR をしてみたい。また、クリエイトホール内に子ども家庭支援センターを設置し、子育て相談に対応しており、ここをメインに市内に 5 箇所を一刻も早く設置し、子育て支援をしていきたい。</p>	<p>こども家庭部 学校教育部</p>
83	<p>私たち里親は、当たり前の暮らしや幸せを子どもたちに味わってほしいという思いで、家庭を提供している。養子縁組を前提としない里親の家庭が八王子にもあるということを知っていただき、仲間になっていただきたい。少数派のため学校、保育園、医療機関等で厳しい思いをしている。理解をしていただきたい。（坂本 洋子）</p>	<p>一番のご苦労は、世間の理解の足りなさという話を伺って、それはいけないと思い、正しく理解をしていただくため、市民の皆さんにいろいろな機会にお話をする努力をしている。</p>	<p>こども家庭部</p>

【北部地域】

平成 16 年 7 月 3 日（石川市民センター）

発言番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
84	捨て看板防止条例の重点区域に指定された市内中心部は、地元や市職員のおかげでかなり効果が上がっているようだが、重点区域外の幹線道路沿いは、チラシや看板が無法地帯のように張っており、目に余るものがある。早急な重点区域の拡大と徹底した取り締まりを強く願います。 (尾崎 勉)	確かに重点区域は、大勢の皆さんのご協力によりなくなってきた。重点区域を増やすのか、あるいは市全域に拡大できるのか研究をする。	道路事業部
85	八王子駅周辺を走る風俗店の宣伝カーについては、営業目的だとしても市である程度規制をしていただきたい。八王子の顔である駅前に絶えずあるということは、子どもの環境からどうかと思う。 (尾崎 勉)	現状の法律や条例では規制できない。あの車は、警察の道路使用許可を得ている。不健全であり、ないほうがいい。考えなくてはいけないと思っているが、警察とも相談したが現状では難しい。今後研究する。	道路事業部 環境部 子ども家庭部
86	昭島市ごみ焼却施設によるダイオキシン汚染問題は、昭島市の意図的にも取れる怠惰な対応のため、6年間も全く進展していない。昭島市の検討委員会も崩壊状態で機能していない。是非とも7月中に、八王子市と昭島市と周辺住民の代表の三者が集まり、話し合い、知恵を出し合う会をつくってほしい。 (樋口 明仁)	これまで文書等で誠意ある対応を求めているが、昭島市の対応は、確かに不誠実というか、十分ではないと私も受けとめている。地域住民の悩みや心配はよく分かる。ご提案もいただいたので、三者の協議の場をつくるよう昭島市に要望する。	環境部
87	市から小中学生に防犯ブザーを配布していただいてそろそろ1年経つが、電池切れのタイミングを見てもらうよう学校へ市から要請を出していただきたい。 (井上 幸之助)	対応をきちんとする。	学校教育部
88	京王八王子駅からJR八王子駅間歩道の地下化の計画は、どうなったのか。 (渡辺 シズエ)	八王子で最も人通りの多い所なので、利便性を高めたいと思っているが、地下化はお金がかかりすぎるので、当面の策として現道の歩道の拡幅やバリアフリー化を行った。国の交付金も付いたので、今後5年間で中心部については、他のまちに負けないいい整備をしていきたい。	まちづくり計画部

【北部地域】

平成 16 年 7 月 3 日（石川市民センター）

発言 番号	要望要旨（発言者）	市長答弁要旨	担当所管
89	障害児も普通学級にという動きがあると聞いているが、それなりの措置がとられないと、学校教育が今までどおり健全に行われるのか不安がある。 (新宮 富美子)	国の方針であり、予算の関係だと思う。また、障害児の保護者の要望も多いことも事実である。障害の程度もあるので普通の学校で受け入れられる限界もあると思う。障害のあるお子さんも差別なく支援をすべきだという制度である。国の対応がまだ明確ではない。	学校教育部
90	高校生の娘がいるが、小宮駅は午後 6 時を過ぎると無人駅となり、駅前はまだまだ暗い所がたくさんある。はちバスが駅を通る等、防犯対策が何かないか。 (山田 美智子)	検討しなければならないが、思い当たらない。悩みは分かるので、時間をいただきたい。	道路事業部 生活安全部 市民活動推進部
91	J R 八王子駅南口に市民会館ができるというのが本当か。演劇活動やライブ等、学生が活動できる施設を造るなど、これからは、学生が八王子に居残るような工夫を考えてはどうか。 (山本 武雄)	市民会館も築後 40 年経ち、音響等の設備面や耐震構造上の問題から、南口再開発と同時に移転を考えている。南口にはペDESTリアンデッキを造り、学生が活動できる場を提供する工夫をしたい。南口を整備することで効果があると思う。	市民活動推進部 まちなみ整備部
92	東海大学八王子病院ができ、新しい医療器具が入っているということで非常に混んでいると聞く。既存の中規模病院の医療器具等の買い替えに補助金を出すことで、診療の分散化を図ってはどうか。 (山本 武雄)	東海大学八王子病院と東京医科大学八王子医療センターを市の中核病院という位置付けをし、高度専門医療や救急救命の補助をしている。市が仲立ちをして、中核病院と市内の中規模病院、あるいは開業医と連携する制度ができた。皆さんには、是非かかりつけ医を持ってもらい、病状に合わせた活用に心がけてもらいたい。	健康福祉部

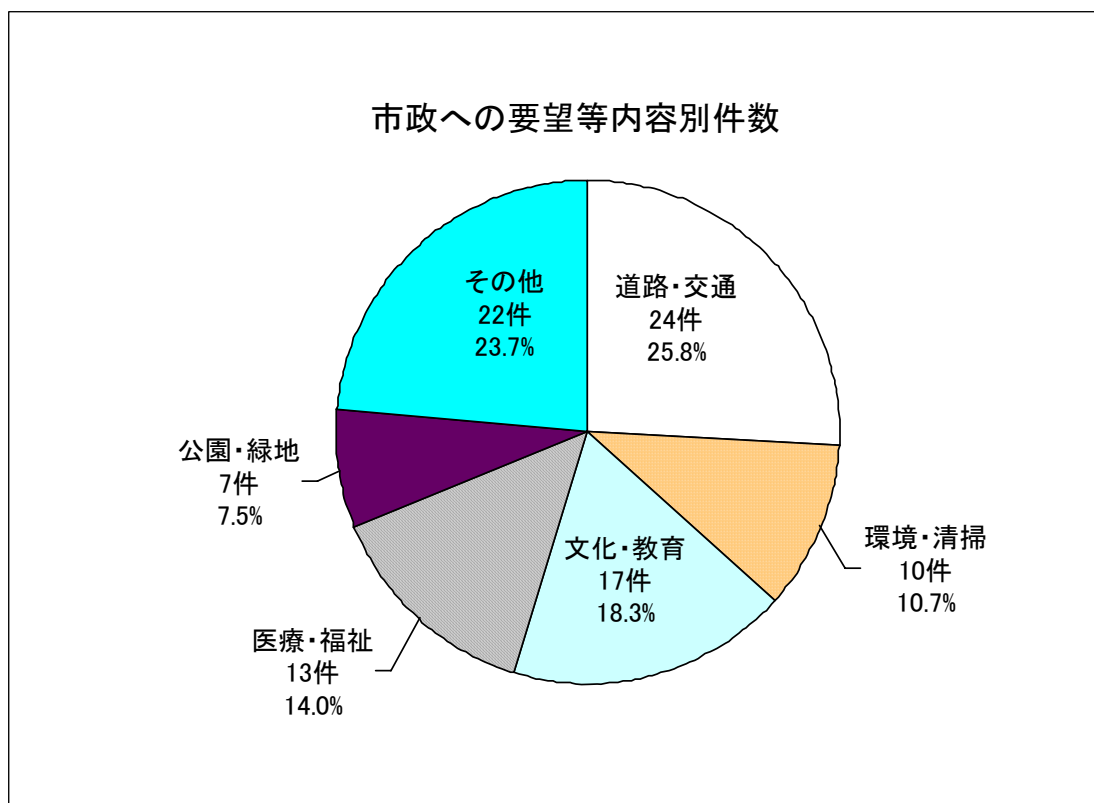
5. 過去の提案等取り組み状況

平成15年度『ふれあいトーク』提案等取り組み状況

テ ー マ 市民とともに築く安全・安心なまちづくり

各会場の実績

開催日	会 場	地 域	地 区	参加者数 (人)	発言者数 (人)	発言項目数 (件)
5月17日	市役所本庁舎	中 央	本 庁	126	9	14
5月24日	東浅川保健福祉センター	西南部	浅 川 横 山 館	115	9	14
5月31日	由木中央市民センター	東 部	由 木 由 木 東 南 大 沢	94	8	12
6月 7日	元八王子市民センター	西 部	元八王子 恩 方 川 口	140	9	20
6月28日	北野事務所	東南部	由 井 北 野	122	11	16
7月 5日	加住市民センター	北 部	加 住 石 川	122	12	17
合 計				719	58	93



ご意見・ご提案をいただいたその後の取り組み状況（平成16年4月末現在）の一例を
ご報告すると……

平成15年5月17日・市役所本庁舎【中央地域】

＜意見＞ 町の人が会うと挨拶するようにしたことにより、空き巣被害がほとんどなくなったところがある。巷には、ウォーキングをしている元気なお年寄りが溢れており、その老人パワーを活用し、各町会でお互い挨拶することを奨励すれば、怪しい人も激減し、明るい地域社会が形成されるものと確信する。
(浅田 実 様)

＜市長＞ 青少年対策地区委員や青少年育成指導員に地域の挨拶運動をお願いしているが、もっと徹底する。地域のコミュニケーションと犯罪を少なくするために、皆でお互いに大きな声で挨拶をするということはいいことなので、早速努力する。昨年度の八王子の犯罪発生件数は1万件を超えており、少しでも減らすようにがんばりましょう。

【対応】 本市でも「地域におけるコミュニティの活性化」が犯罪抑止につながると認識しており、今後挨拶運動が市内全域で活発に展開されるよう、啓発等を行うことを考えている。また、市民の皆様が危害に遭わないよう、犯罪に関する情報を的確かつ迅速に伝達する「犯罪情報ネットワーク」を構築し、犯罪に強いまちを形成していく。その一環として、八王子警察署並びに高尾警察署の協力を得て、平成16年4月1日からは本市ホームページ上に「犯罪被害発生状況」や「防犯対策」の掲載を開始した。

声をかけ合うということは、高齢者にとっても一種の見守りにつながることから、現在、社会福祉協議会、在宅介護支援センター、民生委員、老人クラブ、地域住民等との連携により進めている支えあいネットワークの活動においても重要なことと位置付けている。地域の在宅介護支援センターを核としたネットワーク構築を進めているが、地域の協力が不可欠なことからさまざまな場面で協力の依頼をしており、声をかけ合うことの重要性についてもお願いをしている。

また、平成16年度の八王子市青少年健全育成基本方針の中で、地域での取り組みのひとつとして「地域で声をかけ合おう」を掲げ、これを推進するため、青少年対策地区委員会、青少年育成指導員へのあいさつ運動の強化をお願いするなど、明るく健全なまちづくりに努めている。

＜意見＞ 婦人センターが平成15年9月に閉館され、男女共同参画社会という考えに基づいたものができるそうだが、どのようなものかお聞かせいただきたい。
(中橋 美奈子 様)

《市長》 今後開設を予定している男女共同参画センターでは、女性の自立支援や相談事業など、今の社会環境の中でニーズに合うものについては継承し、発展させていくので、ご理解いただきたい。

【対応】 平成15年12月13日、クリエイトホール8階に男女共同参画センターをオープンした。当センターは、従来婦人センターで担ってきた、女性の自立支援やカウンセリング事業などを継承して、更に、女性も男性もそれぞれの個性と能力を発揮して、いきいきと社会参画できる「男女共同参画社会の実現」に向けてさまざまな事業を行っている。具体的には、女性のための相談事業の拡大や、男女が共に学べる講座の開催、子育て中の方への支援として託児事業の充実も図った。また、「男女共同参画についての情報収集」や「男女共同参画に向けた調査・研究」についても、更に充実させていく考えである。

平成15年5月24日・東浅川保健福祉センター【西南部地域】

＜意見＞ 陵東自治会は、ほとんどの家が建て替えられたが、皆が法律を守っている。奇抜な家もなく、違法駐車もない。安全・安心なまちづくりとは、自分たちが自制して、住む所を都にするつもりでなければと思う。南浅川橋では、若者が歩道に車を乗り上げ夜騒いでいたが、フラワーボックスを置くことで騒がなくなった。 (森谷 明治 様)

《市長》 そこにお住まいの皆さんの意識の高さが、住みよいまちなみの形成に寄与していると思う。また、地域での良好なコミュニケーションづくりは、防犯にとっても有効な手段だと思っている。そういう地域を一つでも増やし、広げていくことは、大きな効果がでるのではないか。

【対応】 「お金をかけずに知恵を出し、まちをよくしていく」という考え方は非常に大切なことであり、たとえば挨拶運動の活発化など「地域におけるコミュニティの活性化」を図ることにより、予算をかけずに犯罪抑止につながると認識している。今後市内全域で挨拶運動が展開されるよう啓発等を行うとともに、地域の方々が安全・安心に向けた自主的な活動をするための手助けができるよう、自治会、商店会、学校等に、防犯に関する新しい情報（犯罪の発生場所、防犯対策）を的確かつ迅速に伝達する「犯罪情報ネットワーク」を構築し、犯罪に強いまちを形成していく。

また、平成15年3月に都市計画に関する基本的な方針である「八王子市都市計画マスタープラン」を策定し、その実現のための方策の一つとして、まちづくりの基本理念を定め、市民等と市の協働によるまちづくりを推進することを目的とした「まちづくり条例」の制定を掲げている。現在は、各地域のまちづくりに関する団体等の話し合いを通じ、条例制定後のあり方

のケーススタディをするなど、制定に向けた検討を進めており、平成18年までに策定することを目指している。

＜意見＞ 高尾駅の南北自由通路を早く設置してほしい。

(田中 卓 様)

＜市長＞ どういう形の南北自由通路が一番効果的で、工事費も安くすむのか、具体的な研究をしている。何年というのは申し上げられないが、この地域の最重要課題のひとつとして取り組んでいる。

【対応】 JR高尾駅の南北自由通路については、地域の皆様をはじめ多くの方々からご要望をいただいております。市では平成14年度より実現化に向けて、市内での検討を行ってきた。平成15年度に国、東京都、交通事業者等による調整会議を立ち上げ、平成16年4月には、平成16年度第1回の会議を開催し、基本的な考えについて検討したところであり、南北自由通路の設置、北口駅前広場及びJR中央線初沢踏切の拡幅等を含め、駅周辺を一体に整備することで、関係機関との調整を進めている。今後は、鉄道事業者等の調整を積極的に進めるとともに、地元関係者で組織する、協議会等を設置し、広く市民の皆様の意見を聞きながら、早期に事業化が図れるよう努力していく。

平成15年5月31日・由木中央市民センター【東部地域】

＜意見＞ 八王子の職安では、職を求める人でごったがえしている。市民と密接な関係にある市で、求人や起業支援の窓口をつくってほしい。

(小川 博史 様)

＜市長＞ パートタイムを希望する方への職業紹介や相談を行うパートバンクを設置している。平成16年6月中には、市として取り得る実現可能な雇用対策を検討する雇用対策検討会をスタートしようと考えている。また、開業を考えている方、あるいは創業間もない方の相談窓口として、商工会議所と共同で設立した「首都圏情報産業特区・八王子」において、「ビジネスお助け隊」を始めた。

【対応】 現在の厳しい雇用情勢に対処するため、交通至便のJR八王子駅前に本市とハローワークで共同設置した「八王子しごと情報館」に自己検索機を20台設置し、求職者が職業紹介・相談が行えるようにするとともに、開所時間も午前10時から午後7時までとし、利用者に利便性に配慮している。また、本市のホームページとハローワークのホームページをリンクして職業

検索ができるようにするなど、相互に連携を取って職業紹介・相談を進めている。

創業支援については、事業資金融資あっ旋制度を再構築し、起業しやすいよう低利の融資や利子の補助を行っている。また、平成15年度から本市及び周辺地域に立地する大手メーカーOBをはじめとし、公認会計士や中小企業診断士等が登録する「ビジネスお助け隊」を立ち上げ、地域企業及び創業に対し、法律、税務、経営、特許取得、技術等についてアドバイスを行っている。この他、JR八王子駅周辺約1km四方に設定するモデル地区において、一定要件を満たした上で、創業支援事業としてのオフィス賃料補助を行っている。

<意見> 松が谷小学校、由木東小学校、中山小学校の耐震補強については、シックハウス対策を講じながら急いで行ってほしい。(白水 嘉奈子 様)

<<市長>> 由木東小学校と中山小学校は、今年設計し、平成16年度に工事を行う。松が谷小学校については、16年度に設計をし、17年度に工事を行う。シックハウスについては、十分に注意をして進めている。

【対応】 小学校校舎より耐震補強工事を進めており、由木東小学校と松が谷小学校は、市長の回答のとおり進行している。ただし、中山小学校については、計画より1年遅れ、平成16年度に設計をし、17年度に工事を行う予定である。

シックハウス対策については、使用材料の制限、工事施工前及び施工後における室内空気的环境測定等、十分配慮して施工を進めていく。

平成15年6月7・元八王子市民センター【西部地域】

<意見> 過日、新聞に出ていた物流団地について見解をお聞きしたい。(石橋 亨 様)

<<市長>> 圏央道が開通しインターチェンジができるので、それを活かした産業立地も考えていかなくてはならない。自然を確保しながら、地域の活性化を考えていくことは必要なことであり、そういう趣旨で今後進めていきたい。

【対応】 東京都は「東京都についての流通業務施設の整備に関する基本方針」により都内に5箇所の流通業務の市街地整備を計画し、今までに4箇所が整備され、残された1箇所が東京西南部地域である。現在、東京都は、東京都、八王子市、青梅市、日の出町、あきる野市、の5者で「東京西南部物流拠点整備検討会」を立ち上げ、圏央道の各インターチェンジ周辺等を物流拠点整

備地区候補地に上げ、調査・研究中である。この様な中、八王子商工会議所は、首都圏物流の効率化、首都圏経済の活性化に貢献し、地域経済の振興に資するため、首都圏中央連絡自動車道の整備効果と八王子の優れた特性を活かした「東京西南部物流拠点」の形成に向け、東京西南部物流研究会を立ち上げた。本市においても本研究会に協力、連携することは「ゆめおりプラン」や「都市マスタープラン」などの上位計画と一致し、北西部地域の経済活性化をもたらす意味からも本研究会に支援を行っていく。

＜意見＞ 交通バリアフリーの関係で、歩道における段差及び勾配に関する基準があるが、調査したところよくできているとは言えないようだ。 (木川 金一 様)

＜市長＞ 歩道の現実、まさにそのとおりである。お金と時間がたくさんかかるが、その必要性は十分に感じているので、精力的に取り組みたい。

【対応】 陣馬街道、秋川街道、高尾街道における歩道のバリアフリー化については、道路整備が進んでいないことから、狭い道路を無理に人と車を分けた道路が多く見受けられる。現状では、バリアフリーに配慮した状況にないことから、一日も早く改善できるよう、道路管理者である東京都に要望して行く。

また、平成14年度に策定した「八王子市交通バリアフリー基本構想」に基づき、JR八王子駅、京王八王子駅及びその周辺道路などにおけるバリアフリー化の事業計画づくりが鉄道事業者や道路管理者などにより、現在進められている。中でもJR八王子駅北口から京王八王子駅への東放射線については、歩道幅員を拡幅するなど先行してバリアフリー化を進め、平成16年4月にリニューアルした。また、道路を整備するにあたっては、「福祉のまちの整備マニュアル」に基づき、「いちょうホール通り」などの生活道路や都市計画道路の整備を行っている。平成16年度以降は、同基本構想の重点地区であるJR八王子駅周辺地区内の八王子市幹線1級26号線（京王八王子駅から国道20号線までの延長180m）の整備をはじめ、その他の特定経路路線についても平成22年度を目途に事業化を図っていく。

平成15年6月28日・北野事務所【東南部地域】

＜意見＞ 長沼地区から八王子駅まで「はちバス」を通してほしい。 (中村 憲市 様)

＜市長＞ 平成15年度は東ルートを実行しようということで、準備を進めている。長沼在宅介護支援センター付近は検討範囲に入っているが、一般路線バスとの競合も大きいこともあり難しい。

多くの方々に理解をしていただけるルートということも大事なことと思っている。

【対応】 はちバスは、バス路線が整備されていない地域における高齢者等の外出支援を目的としているため、平成16年3月に運行を開始した東部コースについては、できるだけ既存のバス路線と競合しないことを基本とし、北野街道を中心にバス路線のないJR片倉駅、長沼駅に接続させるとともに、東部地域の主要駅である北野駅、高齢者等の利用度の高い「あったかホール」等を結ぶ路線に決定した。北野駅で乗り換える必要はあるが、長沼地区から八王子駅へのアクセスは、大幅に改善されているものと考えている。

＜意見＞ 公園アドプト制度を全世帯の70%の構成率で成り立つ全町会・自治会に呼びかけることで、きれいな公園がもっと広がるのではないかと。市と市民が一体となって、協働の精神で取り組む制度の再構築をお願いしたい。 (阿部 義雄 様)

＜市長＞ 大きな公園で業者が専門的な立場で管理をしなければならない部分もあろうかと思うが、地域の皆さんに管理をしていただけるような部分は、これからさらに広げていきたい。

【対応】 これまでも町会・自治会への働きかけや広報等を通して公園アドプト制度への参加を呼びかけてきたが、今後もさまざまな媒体と機会を通じ、拡大を図っていく。

平成15年7月5日・加住市民センター【北部地域】

＜意見＞ 安全は市民生活の根幹であるが、最近では危機的状況にある。生活安全部を市民の安全の砦にしていきたい。具体的には、市民の悩みや相談ごとを気楽に話せる窓口とし、市民の代弁者として、しかるべく関係部署へ働きかけてほしい。 (天野 信 様)

＜市長＞ 生活の安全・安心に関する条例、暴走族追放条例等、市ではそういった姿勢をきちんと示して、皆さんの協力をいただくことが大事だと考えている。相談等の窓口については考えてみたい。

【対応】 生活安全部暮らしの安全安心課では、市民の悩みや相談、防犯に関する窓口として、平成15年8月18日から業務を開始しており、市民の全てのニーズにお答え出来るまでは至っていないが、職員一人ひとりが市民の身になって対応している。現在特に問題となっている「犯罪抑止活動」については生活安全部に現職の警視庁警察官を2名配置することにより、より警察

との連携を強化するよう努力している。今後も警察等から防犯に関する情報を入手して、市民の皆様へ還元出来るよう努力していく。また、空き交番については、市としても警察へ対応を要望しているところであるが、国においても今後警察官を大規模増員し、空き交番を解消していく方針が示されており、今後も空き交番解消に向けて警察に積極的に要請していく。

＜意見＞ 「道の駅」の候補地が2か所に絞られたと聞くが、左入・滝山町一丁目と仮定した場合、ひよどり山有料道路の北側終点から411号線への延長及び411号線以北への延長は、16号線とのアクセスからも、「道の駅」の利用の拡大からも有効であると考え。 (遠藤 富久 様)

＜市長＞ 「道の駅」は加住地区で考えている。安全の観点から生活道路と幹線道路は分けるべきだと思う。有料道路や高速道路の利用者は主に新滝山街道を通過していただき、旧道は生活道路にするほうが安全ではないかと思う。今のところ有料道路へつなぐという計画はないが、検討してもよいのではないかと思う。

【対応】 「道の駅」については、学識経験者を中心とした、道の駅整備推進委員会等で検討した結果、滝山町一丁目のひよどり山有料道路と新滝山街道が交差する北側の場所に決定した。現在、平成18年開駅に向けて施設内容等について検討を進めている。

ひよどり山有料道路を北側に延伸し、国道411号線と接続することに関しては、将来構想としてひよどり山有料道路から現在計画している道の駅への出入り口として、または下り線からの右折アクセスとして現況道路の拡幅等について警視庁と協議を行っているが、あくまでも道の駅への出入り口としての位置付けであり、国道411号線までの延伸は計画していない。新滝山街道は国道411号線に代わる高規格道路であり、国道411号線へは、加住学園通りから純心女子学園前でアクセスしており、都道谷野街道における高月町からあきる野へ抜ける丹木3丁目交差点へのアクセス強化が望ましいと考えているが、平成15～16年度で策定する総合都市交通体系整備計画の中で検討していく。

「道の駅」とは

長距離ドライブや、女性や高齢者のドライバーが増加するなかで、交通の円滑な流れを支えるため、一般道路を利用する全ての人々が安心して利用できる休憩のための施設であり、地域の文化、名所、特産物などを活用して多様なサービスを提供する施設を併設した、トイレ・休憩施設・情報発信施設・地域振興施設を基本機能とした施設である。

6. 会場配布資料

平成16年度“タウンミーティング「市長と語る」”資料

ゆめおりプランを実行し元気なまちを実現

市は、皆さんが元気に暮らしていける安全・安心なまちの実現に向けて、さまざまな施策を展開しています。市が目標とするまちづくりの基盤となっているのが、市の予算です。

平成16年度の予算は、基本構想・基本計画「ゆめおりプラン」の実施計画に沿って編成しました。これは、歴史と文化に培われてきた本市が、新しい時代にふさわしいまちづくりをめざす指標として、市民の皆さんとともに作成したものです。次の6つの重要課題を柱にしています。

- ◆ 市民協働の推進
- ◆ 健康・医療、福祉の充実
- ◆ 特色ある教育、文化・学習機会の向上
- ◆ 安全・安心で快適な都市基盤・交通基盤の整備
- ◆ 地域産業の振興
- ◆ 環境の保全・活用を実現する循環型社会の構築

16年度予算の概要

平成16年度予算総額は、一般会計で1,629億円。前年度に比べ7.5%、114億円の増となりました。しかし、これは平成7・8年度に国が減税策を実施した際、不足する財源を補うために借り入れた市債を一括償還する費用125億円を含んでいるためです。この金額を除いた一般会計の予算規模は、前年度に比べて0.7%、11億円の減となっています。

また、国民健康保険事業など8つの種目で構成されている特別会計は、前年度に比べて全体で1.1%、17億円増の1,583億円となりました。これは、食肉処理場の民間移管や土地取得・受託水道事業などで減額となったものの、国民健康保険・介護保険・下水道の各事業の会計が増加したことによるものです。

こうしたことから、平成16年度の一般会計と特別会計の合計額は、前年度に比べ4.3%、131億円増の3,212億円となりました。

平成16年度の主な事業

平成16年度の主な事業を基本計画・基本構想「ゆめおりプラン」に掲げたまちづくりの6つの課題に沿って紹介します。

(◎は新規事業、●はレベルアップなどを図る事業です。)

1. 新しい時代にふさわしい創意にみちた協働のまちづくりのために

- ◎ ゆめ育て市民会議（仮称）準備会の設置・運営 27万円
住民自治体制の確立と、市政に参加しやすい環境を整備するために設置します。
- ◎ 国際交流コーナーを開設 400万円
外国人留学生など、在住外国人の日本での生活を支援し、市民との交流を促進します。

- ◎ 戸籍を電算化 6,328 万円

市民サービスの向上と業務の効率化のために戸籍の電算化を行います。

その他の事業

- 広報紙の作成…9,885 万円 ● 広聴活動…514 万円 ● 電子申請・調達システムの共同開発
…1,575 万円など

2. 一人ひとりが大切にされ共助で築くふれあいのまちづくりのために

- 生活安全対策 2,392 万円

八王子駅周辺でのつきまとい勧誘行為に対するパトロールを強化し、充実を図ります。また、防犯意識の高揚のため「八王子市防犯の日（仮称）」を新設します。

- ◎ 子ども育成支援 412 万円

市民参加による「こども育成計画」を策定。子育てに関するさまざまな環境を整備します。

- 児童手当 20 億 8,932 万円

支給対象年齢を小学 3 年生までに拡大します。

- ◎ 精神障害者ホームヘルプ 1,908 万円

家事援助や身体介護を通じて、精神障害者の自立と社会参加を促進します。

- ◎ 高齢者向け火災通報システム 76 万円

要介護 4・5 に該当する方のいる高齢者のみの世帯に火災警報器などを設置。高齢者の安全を確保します。

- ◎ いきいき健康づくり事業 200 万円

健康増進のため「市民健康の日」を制定し、はちおうじ健康づくり推進協議会が実施する催しを助成します。

その他の事業

- 無料法律相談の拡充…457 万円 ◎ ドメスティック・バイオレンス被害者に宿泊費などを援助…15 万円 ● 学童保育所・自主学童クラブの管理・運営…12 億 2,183 万円 ◎ 児童虐待防止ネットワーク構築…124 万円 ◎ 医療センター・東海大学病院と一般診療所などとの医療連携支援…922 万円など

3. だれもがいつでも多様に学び豊かな文化を育むまちづくりのために

- ◎ 高尾山学園の運営 8,091 万円

不登校児童・生徒のための小・中一貫校「高尾山学園」を本開校。子どもたちの心のケアを重視しながら、ものづくりなどを取り入れた特色ある教育を行います。

◎ 市費による指導主事の増員

学校・教師へのきめ細かな指導など、教育行政の充実・進展を図ります。

◎ 市民大学の運営

2,570 万円

生涯学習推進のために市内 21 の大学・短大などと連携。市民の皆さんに学習の機会を提供します。

◎ 姉妹都市盟約 30 周年記念事業

263 万円

苫小牧市・日光市との姉妹都市盟約 30 周年を記念して、「千人同心」をテーマにした催しなどを開催します。

その他の事業

●学校の地震防災対策（耐震補強）…1 億 9,618 万円 ◎特別支援教育への移行…500 万円
◎知的障害・情緒障害学級設置…1,050 万円 ◎学力定着度調査…984 万円 ●生涯学習支援システム管理運営…3,494 万円 ●読書のまち八王子推進…1,354 万円 ◎総合型地域スポーツクラブ設立準備…103 万円 ◎新市民会館整備…1,043 万円 ◎中国語版ガイドマップの作成…176 万円など

4. 安全で快適に暮らせる 心やすらぐまちづくりのために

◎ 高尾駅北口駅前広場と南北自由通路などの整備

1,350 万円

駅前ロータリーを拡張・整備します。また、周辺住民の利便性の向上を図るため駅の南北を自由に行き来できる通路の建設に向けた調査・計画策定を行います。

◎ 三崎町の陸橋架替に伴う道路整備

1 億 97 万円

都の陸橋架替工事に伴い、取り付け部を拡幅整備します。

その他の事業

◎西放射線ユーロードの整備計画策定…95 万円 ◎消防団器具置場新設…2,200 万円 ◎気象予報業務サービスの拡充…630 万円 ●下水道管路建設改良…90 億 6,000 万円 ◎戸別浄化槽設置…1 億 6,525 万円 ◎公園治安対策…1,132 万円 ◎公園バリアフリーの推進…720 万円 ◎自転車放置禁止区域の指定…887 万円 ◎都道すいすいプランの推進…2 億円
◎パーク・アンド・バスライドの試行…2,640 万円 ●西八王子駅構内のエレベーター設置補助…6,000 万円 ◎道の駅整備…700 万円 ●地域循環バス運行…2,939 万円など

5. 魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまちづくりのために

◎ 雇用奨励金の交付

300 万円

国のトライアル雇用を利用して正規に従業員を雇い入れた事業主に対し、奨励金を交付し

ます。

- ◎ 八王子フィルムコミッション事業の実施 1,500 万円
豊かな自然や景観などの観光資源を映画やドラマなどの舞台として積極的に売り込み、本市の魅力を全国にアピールします。
- ◎ 八王子観光大使制度の実施 54 万円
八王子にゆかりのある著名人などを大使に任命。市のイメージアップと観光客誘致をねらいます。

その他の事業

◎新規事業資金助成制度（ものづくり産業振興資金、物流系産業支援資金、IT化支援資金）…677 万円 ◎女性・中高年事業創出支援利子補給…49 万円 ◎やる気・ひらめき応援資金利子補給…25 万円 ◎TMO（まちづくり推進機関）が実施する「あきんど講座」補助金…51 万円 ●高卒者などの就職支援…2,006 万円 ◎労働セミナーの開催…43 万円 ◎中央道八王子インター北地区基盤整備促進…7,200 万円 ●八王子駅南口地区市街地再開発…3,082 万円 ◎物流系産業実態基礎調査…525 万円 ●農作物獣害防止対策…930 万円など

6. 水とみどりを慈しむ 地球環境にやさしいまちづくりのために

- ◎ 雨水浸透基礎調査 800 万円
河川流水量の回復・再生に向けて、水の循環のしくみを解明するために地形・地質などのデータ収集調査を実施します。

ごみ収集の有料化を実施

- ◎ 有料ごみ指定収集袋制度の導入 4 億 2,158 万円
- ◎ 可燃ごみ戸別収集運搬 1 億 2,285 万円
- ◎ 不燃ごみ戸別収集運搬 3 億 8,138 万円

指定収集袋によるごみの有料化の実現とともに資源物の収集回数を増やすなどして、環境意識を高め、ごみの減量化・資源化を促進します。また、出したごみに対しての責任を明確にするために、戸別収集を実施します。

その他の事業

◎公園維持管理計画策定…30 万円 ●森林再生…4,855 万円 ◎公園資源有効活用…325 万円 ◎ペットボトル拠点・分別収集…1 億 7,508 万円 ◎ペットボトル減容機設置…4,500 万円 ●プラスチック製容器包装分別収集…1 億 1,387 万円など